

今井 顕公開講座 はじめての原典版

原典版の目的と
導入法・使用法

～「ウィーン原典版やさしいピアノ曲集」(音楽之友社)を使って～



今井 顕 (いまい・あきら)

パウル・バドゥーラ＝スコダの薦めによって16歳で渡欧、ウィーン国立音楽大学に入学。早くも19歳で最優秀の成績にて同大学を卒業後、コンサートピアニストとしてソロ、アンサンブルとも国際的な活動を開始する。1981年より母校ウィーン国立音楽大学ピアノ専攻科にて教鞭を執る一方、ヨーロッパの音楽出版社における原典版楽譜の編集作業にも携わるなど、幅広い活動を展開。通算24年ものヨーロッパ滞在経験は今井の音楽に独特の味わいをもたらし、日本の誇る国際派ピアニストとして内外で高い評価を受けている。1995年、音楽分野における業績と尽力に対し、オーストリア政府より名誉教授の終身称号を授与される。現在は演奏活動のかたわら国立音楽大学大学院教授として後進の育成に携わるほか、国際コンクールの審査をはじめとして海外での活動も活発に行っている。

〈講座内容〉

- ・原典版とは？
- ・解釈版(校訂版)の問題点
- ・時代によって違う記譜法
- ・原典版の使い方と留意点
- ・『やさしいピアノ曲集』を使ってみよう

原典版の楽譜を指導の現場でどう活用すべきか悩んでおられる先生方への講座です。「原典版とはどのような楽譜か」に始まり、モーツァルトの《幻想曲ハ短調》とベートーヴェンの《月光ソナタ》を通じて原典版の詳細と問題点に触れます。そしてベートーヴェンの《悲愴ソナタ》やショパンの《幻想即興曲》を題材に、作曲家以外の方が校訂した楽譜の危うさを実感してください。同じ原典版でも出版社によって異なった仕上がりになっている理由も、この講座によって氷解するでしょう。プロジェクターから投影される自筆譜や初版楽譜の画像を見ながら、楽譜に関することを思う存分学んでください！

●日 時

●会 場

●使用機材

ピアノ、ホワイトボード
スクリーンとプロジェクター(Mac対応)

* PC(Mac)は先生がお持ちください
※ご用意が難しい場合はご相談ください。

●テキスト

ウィーン原典版「やさしいピアノ曲集」
〈参考楽譜〉 ウィーン原典版「モーツァルト ピアノソナタ集 2」
ウィーン原典版「ベートーヴェン ピアノソナタ集 1、2」
ウィーン原典版「ショパン 即興曲集」 (以上、音楽之友社)
※当日、会場で販売いたします

●お問い合わせ・お申込み先

キリトリ線

今井 顕 公開講座

年 月 日()

はじめての原典版

申込書

行 FAX.

申込日 月 日

お名前			
ご住所	〒		
TEL		FAX	
E-Mail			
種 別	会 員 ・ 一 般		

※〇印をおつけください。ご記入頂いたお客様の個人情報は、この講座の控えとしてのみ使用させていただきます。